

SB58

市民団体の現地での活動：

Climate Action Network International



SB58報告会 2023年7月14日

ギャッチ・エバン

gach@kiconet.org



気候ネットワーク



CAN Internationalについて



- 世界で最大の、気候変動に関わっている市民団体によるネットワーク
- 1989年創設
- 130カ国、1,900以上のメンバー団体
- 22の地域あるいは国の拠点（ノード）があり、CAN-Japanは日本の拠点（ノード）

UNFCCCの交渉プロセスにおける、非政府団体による9つのグループ（Constituencies）の中で、**ENGO**（環境NGO）の団体を代表する

BINGO	企業・産業NGO
ENGO	環境NGO
Farmers	農家・農業NGO
IPO	先住民族の団体
LGMA	自治体
RINGO	研究・独立NGO
TUNGO	労働組合NGO
WGC	女性・ジェンダー団体
YOUNGO	若者団体

CAN

DCJ

CAN-Iの要求

緩和・エネルギー

- COP28では、各国政府は、再生可能エネルギーの拡大とエネルギー効率化に関する計画とともに、化石燃料の急速で公正なフェーズアウト計画を提出する

気候資金（ファイナンス）

- 化石燃料への公的融資をすべて終わらせる
- 2025年までに1,000億ドルの気候変動資金と適応資金の倍増に向けた透明性の高いロードマップ

損失と損害（ロスダメ）

- 損失と損害の基金は、COP28までに完全に運用
- グラスゴー対話について、オブザーバー団体のアクセスを確保

公正な移行作業計画（JTWP）

- 人々とその権利を中心するアプローチを用いる
- 労働者と地域社会がその設計と実施に参加する機会がある

適応

- CMAおよびSBの下での適応に関する世界全体の目標（GGA）に関する恒常的な議題項目
- COP28におけるGGAの運用に向けた明確な方向性とガイドライン

グローバル・ストックテイク（GST）

- COP28に向けたマイルストーンを設定する

アカウンタビリティ

- 気候変動の国際交渉における化石燃料産業によるロビイングの影響をなくしていくために、アカウンタビリティ（説明責任）の枠組みを導入する

CAN-Iの現地活動：政府との対話

- SBで行われている交渉や出来事、COP28に向けた行動について話し合う
- 各国の政府代表にCAN-Iの要求、スタンスなどを伝える
- 政府の様々なポジションを明確にする
- お互いに質問を出し合い、対話する

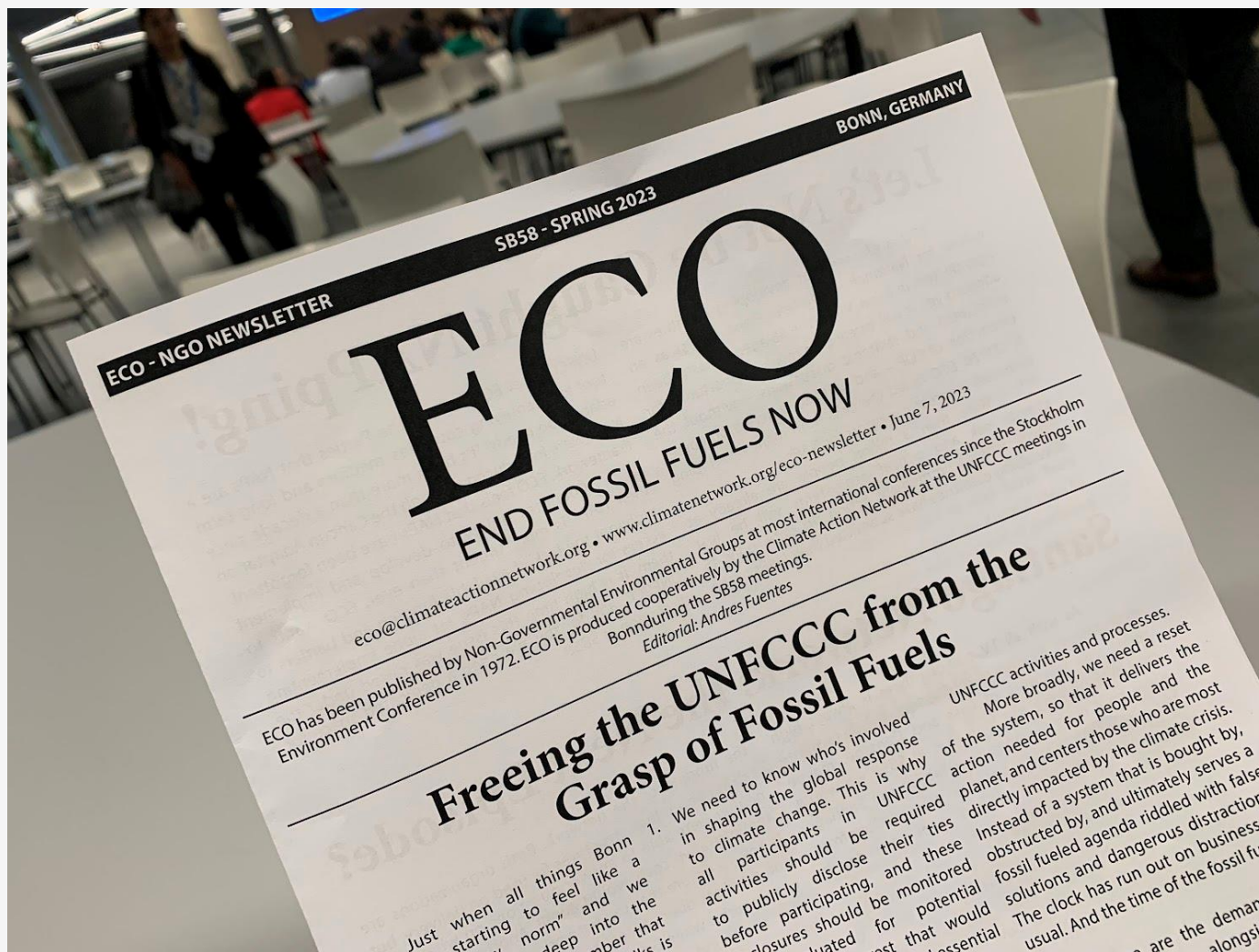


CAN-Iの現地活動：ECOニュースレター

- 毎日発信
- 交渉の進歩・情報報告
- CAN-Iのスタンスを明確に伝える
- 交渉の状況とできごとに意見・コメント
- より良い交渉をめざして、政府代表団にプレッシャーをかける

CANのホームページでダウンロードできます：

https://climatenetwork.org/resource_type/eco-newsletter/



CAN-Iの現地活動：その他

- 日々の交渉に関する情報共有・意見交換
- 各課題ワーキンググループのミーティング
- 記者会見
- UNFCCC会議での発言（Intervention）



CAN-Iの現地活動：現地でのアクション

非政府主体からなる団体 (UNFCCC Constituencies)と共同 アクション

- 特に、気候正義、先住民、女性・ジェンダー、若者、労働組合の団体

テーマ：

- 化石燃料のフェーズアウト
- 誤った対策 (False solutions)
- アカウンタビリティ (Kick Big Polluters Out)
- 気候正義と人権
- 損失と損害 (ロスダメ)
- 公正な移行
- 市民参加・インクルージョン



Global Fight to End Fossil Fuels

SB58最終日のアクションでローンチ

- CANが参加している共同キャンペーン
 - 他のconstituency、団体、個人参加者もアクションを行う
- 「FFF」要求：化石燃料フェーズアウトは、
 - **Fast**（急速で）
 - **Fair**（公正で）
 - **Funded**（発展途上国へきちんと気候資金を提供する）
 - and, **Forever!**（そして、永久に！）
- 9月15日：Fridays for Future グローバル気候ストライキ
- 9月16日～17日：様々なグローバルアクション
- 9月17日：ニューヨーク市で気候マーチ

<https://fightfossilfuels.net/>

- #EndFossilFuels
- #FastFairForever



CAN-I : SBの最終評価・COP28に向けたメッセージ

閉会式での発言

- 気候正義を達成するために、人権が必要
- グローバルサウスに対し、気候資金を通じて、化石燃料から早急で公正な脱却
- COP28までに、公正な移行の明確な道筋

SB58終了時のプレスリリースより

- SB58の交渉の中心になった10日間の「アジェンダ・ファイト」は、気候変動対策の進展に不可欠な資金の不足を浮き彫りにした。
- 資金拠出に対する数十年にわたる不信（例えば、2020年までに達成予定だった1,000億ドルの資金拠出）により、より貧しい国々が化石燃料からフェーズアウトし、再生可能エネルギーへの公正な移行を実施するためには、資金を拠出する必要があるという議論を展開することとなった。
- パリ協定の1.5°C目標を達成するために、急速かつ大幅な排出削減と、それを可能にする気候資金が必要。

プレスリリース : <https://climatenetwork.org/2023/06/15/civil-society-reacts-to-bonn-climate-conference/>



ありがとうございました！

COP28: 2023年11月30日～12月12日



Fossil Fuels, False Solutions Cloud COP28 Ambition

Today, the incoming Presidency in an open consultation session shared its vision and expectations for COP28 and Parties responded. ECO didn't fail to notice that, despite all the lofty talk of "raising ambition" and "reducing emissions," the COP28 Presidency is still talking about phasing down unabated fossil fuels. In response, a number of countries spoke about the importance of the Global Stocktake for enhancing ambition and the need to build on the establishment of the Loss & Damage Fund at COP27 with a pathway toward implementation and operationalizing financial arrangements.

Parties know that communities around the world are suffering from climate impacts and urgently require support. A logical conclusion would be to focus attention on the main source of the problem: burning of fossil fuels.

Lest we forget, a phase-out of "unabated" fossil fuels doesn't mean much. Every country has their own definition of abatement and many abatement techniques result in minimal emission reductions, while extending the life of fossil fuels. Yet, many Parties seem to be ignoring this, instead relying on false "solutions" and dangerous distractions such as CCUS, co-firing with biomass or ammonia, all the while continuing to burn fossil fuels.

The COP28 Presidency claims this will be a "COP for action." But ECO thinks its vision must be cloudy. You can't expect to meaningfully reduce emissions (or stop the climate crisis) without committing to a full and rapid exit from all fossil fuels. Let's be clear: **There is no real vision of COP28 without a just phase-out of all fossil fuels.**

ECO - NGO NEWSLETTER

PAGE 3

BONN, GERMANY

gach@kikonet.org



気候ネットワーク

